



令和4年度 宿利原小学校だより

# 宿っ子 6月号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



## 大切なのは挑戦する心

校長 有留 盛昭

6月11日(土)、今年度2回目の宿利原寺子屋塾を開催しました。毎年恒例になっている大学生による「キャリア教育講話」です。来て下さった4名の大学生は、教育学部、法文学部、農学部、そして工学部と全員が全く違うカリキュラムで学び、目指す職業も違っていました。「大学は、夢を叶えるところ」「大学は、自分の学びたいことを学ぶところ」講話を聞いている子供たちは、大学というところを想像しながら、心を弾ませていました。大学で使っている教科書を見せてもらう子供たちの目は、きらきら輝いていました。8月には鹿児島大学の見学を計画し、更に夢を膨らませられるようにしたいと考えています。



↑大学の教科書を見せてもらう

夢を実現するために高校や大学に進学するのは対照的に、プロの将棋棋士の藤井聡太5冠は、夢を実現させるために卒業する2か月前に自ら高校を退学しました。中学3年でプロ棋士最年少記録を立てた藤井5冠にとって、高校は夢を叶える為の場所ではなかったのだと思います。将棋の世界の外での友人を作る場所であり、卒業すること以上に大切な将棋のために、自分で時間の使い方を選択したのだと思います。

藤井プロは5つの冠をもっているので呼び名が5つあります。藤井棋聖、藤井王位、藤井叡王、藤井竜王、藤井王将と10代で5冠を得るのは将棋界で初めてだそうです。その他にも数々の最年少記録や連勝記録などを更新しています。そんな藤井5冠も小学生の頃には、負けたあと将棋盤を抱えて泣きわめき、母親を困らせたことがあったそうです。将棋を始めたきっかけは、入門用将棋セットを買ってもらい祖父母と将棋を指したことだそうです。すぐにのめり込み、将棋のことばかり考えて道路で側溝にはまってしまうほど夢中になったようです。そんな、将棋との出会いが藤井さんの5冠に繋がっているのですね。

子どもの頃の経験は、大人になってから意外なところで役に立つことがあります。役に立つどころか藤井5冠のように、将来と直接結びつく経験もあるかもしれません。無限の可能性を秘めた子供たちに、少しでもたくさんの道が開くように子どもの頃から色々な経験をすることはとても大切なことだと思います。学校では、どんな道でも自分の力で進んでいくための力(知力・体力・徳力)を付けていきます。また、学校でできる範囲の、たくさんの経験を積ませていきます。ただ、これは「きっかけ」であり、藤井5冠で言えば、入門用将棋セットで遊んだ経験の部分です。自分がのめり込めるほどの何かに出合えるといいのですが、なかなか難しいものです。だからこそ色々なことに**挑戦**してほしいのです。やってみないと分からないことが世の中にはたくさんあります。自分から**飛び込んだ**からこそ見つけられるものがあります。挑戦することは、勇気を必要とします。緊張を伴います。結果として失敗したり後悔したりすることもあります。でも、必ず何かが残ります。挑戦は、一つのスタートラインです。何度でもやり直しながら、たくさんのスタートラインを経験してください。



↑地区陸上大会で自分の力を試す  
穂果さんと晴空虎くん

ちなみに、藤井5冠は富士登山に例えて今の自分の立ち位置を「どこが頂上かも見えない。(中略)まだまだ上の方には行けていないのかなと思います。」と答えています。やっぱりすごい人ですね。

宿小フェイスブックはこちらから→

